

米軍基地の無い大阪だからこそ
やらないといけない事があります。
基地に沈む沖縄を見捨てない、全国に声を響かせて
基地の建設を必ず止めます。

大阪駅前と全国を結んで



沖縄・名護市辺野古沖につくられようとしている長さ2500m、幅730mの米軍基地建設を止めるために、地元のおばあ、おじいが見張り小屋で座り込みを始めたのは、9年前のことです。この間ずっと続けられてきた座り込みは、2004年4月19日、日本政府・那覇防衛施設局の作業強行という新たな局面を迎えたことで、

辺野古漁港前での座り込みに受け継がれ、その日数は450日を超えました。さらに、昨年9月には、施設局が海上での作業に着手したため、住民、漁民たちは船を出し、日中やぐらボーリングをするために建てられた足場）に座り込むという過酷な阻止行動を続けています。そして、沖縄の8割以上の人が、辺野古の基地建設に反対する中、辺野古現地ではボーリング調査の名のもとに行われようとしている基地建設着工の切を止め続けているのです。

しかし、このように辺野古の工事が完全にストップしている状況にあっても、政府はこの計画を断念しようとはしません。隙あらば作業を強行してくる姿勢を決して崩してはいけません。どうすれば、この計画を止められるのでしょうか。私たちは本気になって考え続けてきました。

私たち「大阪行動」は、これらの

情報が全く伝えられない「本土」の地でこそ、日本政府を許し続けている私たちこそ、一人ひとりが声をあげていかなければならないという思いで、この1年間、毎週街頭に立ち、ピラを配り、署名を呼びかけてきました。そして、同じように辺野古の基地建設を止めたいという一人ひとりの思いは、7000筆を超える署名となつて私たちの手元に届いています。これを携え、私たちは2度にわたって大阪防衛施設局に申請を行い、各関係省庁に対しても申し入れを行ってきました。そして、今や、辺野古の基地建設に反対する行動は、東京、京都、名古屋、滋賀、福岡、姫路など全国各地に広がっているのです。

現在、在日米軍再編協議の中で、「辺野古」を再検討する兆しが強まっています。しかし、その代替案として挙がるのは、やはり「沖縄県内移設」であるという現実を、私達は改めて

とらえ直さなければなりません。なぜ、「沖縄」ばかりに基地が押しつけられるのでしょうか。私たちの家の近くにいらぬ米軍基地は、同じく沖縄の人々の生活の上にもいらぬはずで、辺野古の基地建設を本当の意味で白紙撤回させるために力をかけてください。共に行動してください。何より求められるのは、私たち日本に住む一人ひとりの主体的な「NO!」の声なのです。その声があれば、この計画は絶対に白紙撤回できます。一緒に声をあげてください。



第一次署名提出行動

1月20日、沖縄・辺野古沖でのボーリング調査の即時中止と、基地建設計画の白紙撤回を求める2700筆の署名を大阪防衛施設局に提出しました。



第二次署名提出行動

第2次署名提出行動には、前回の35名を超える人の参加がありました。

1 座り込みへの参加は…

まずは那覇空港を目指してください。そこからはバス又はモノレールで那覇バスターミナルへ。バスターミナルから沖縄バス名護東海岸系統第77番に乗れば辺野古に着きます。時間で言うと那覇空港から3~4時間、費用は3000円ほど。「辺野古に基地を絶対つくらせない大阪行動」では派遣基金の助成もしていますので、お声をかけてください。

2 座り込みを続ける皆さんへカンパのお願い

現在、辺野古では海上でのボーリング調査を阻止するために、阻止船を調達する必要がありますが、そのための資金が圧倒的に不足しています。みなさん、抗議船を調達するための緊急カンパをお願いします！(カンパ額、累積合計1,015,837円これらのカンパは、●ヘリ基地反対協議会●命を守る会へ送っています)

郵便振替口座 **00960-6-77258**

加入者名 辺野古に基地を絶対つくらせない大阪行動

3 大阪で私達と一緒に行動して下さい。

- 私たちは毎週土曜日の15:30~17:00まで、JR大阪駅周辺で街頭行動を行っています。
- 8月20日(土)の18時から中之島の中央公会堂・第8会議室でミーティングを予定しています。
- ボーリング調査の即時中止と基地建設の白紙撤回を求める署名にご協力ください。署名用紙は大阪行動のホームページよりダウンロードできます。(署名の累計は7,251筆)